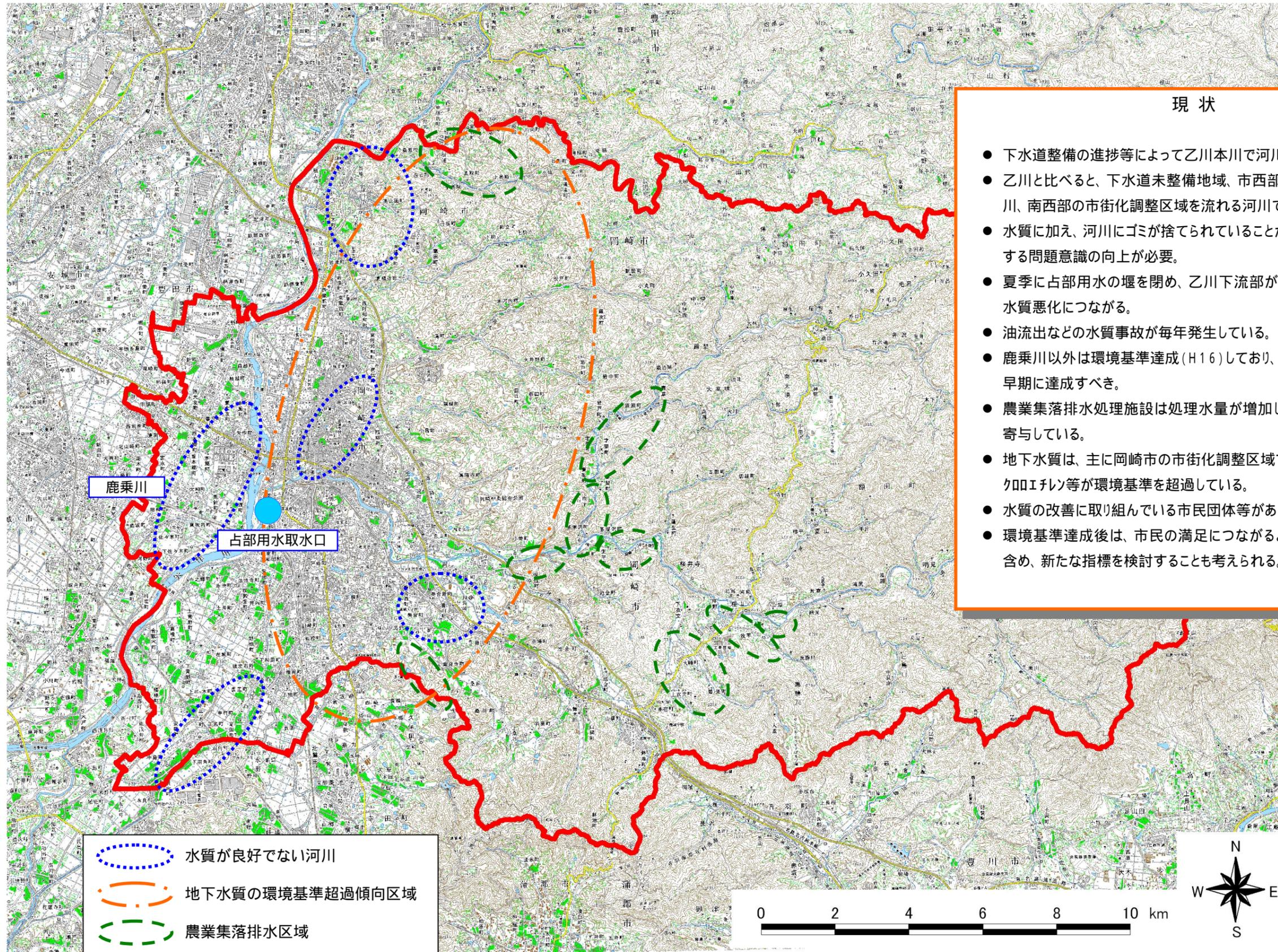


# 水質について



## 現状

- 下水道整備の進捗等によって乙川本川で河川水質は改善傾向。
- 乙川と比べると、下水道未整備地域、市西部の市街地を流れる河川、南西部の市街化調整区域を流れる河川で水質が良好でない。
- 水質に加え、河川にゴミが捨てられていることが問題であり、ゴミに対する問題意識の向上が必要。
- 夏季に占部用水の堰を閉め、乙川下流部がため池状態になると、水質悪化につながる。
- 油流出などの水質事故が毎年発生している。
- 鹿乗川以外は環境基準達成(H16)しており、鹿乗川の環境基準は早期に達成すべき。
- 農業集落排水処理施設は処理水量が増加し、河川の水質改善に寄与している。
- 地下水質は、主に岡崎市の市街化調整区域で窒素、市街地でテトラクロロエチン等が環境基準を超過している。
- 水質の改善に取り組んでいる市民団体等がある。
- 環境基準達成後は、市民の満足につながるようなものにもするも含め、新たな指標を検討することも考えられる。